

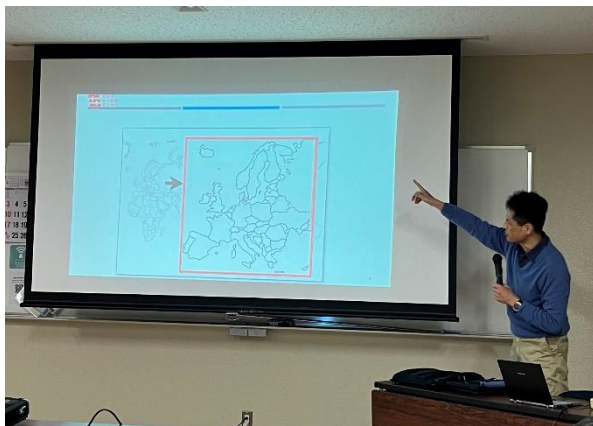
ハート・オブ・ヨーロッパ チェコ

3月7日（木）上菅公民館で国際理解出前講座を実施し、21名が参加しました。講師は、4年半チェコに駐在していた黒田 健二さんです。

講師の簡単な自己紹介のあと、チェコの位置を確認するところから始まりました。チェコは、ヨーロッパのほぼ中央に位置し、北海道と同じぐらいの面積に東京と同じぐらいの数の人が住んでいるとのことでした。また、チェコは四方を外国に囲まれていて海に接していない内陸国です。



歴史については、ドイツによる併合やソ連の影響下での社会主義体制の時代、民主化運動などの説明がありました。控えめで慎重に物事をおこない、日本人に対しても敬意を持って丁寧に接してくれる人が多く、日本人と似ていると感じたそうです。



首都プラハの歴史地区は様々な時代様式の建築物や美しい街並みが残されており、世界遺産に登録されています。たくさんの写真をスライドショーで見ていると、実際に訪れたような気分を味わうことができました。チェコ出身のスメタナが作曲した「ヴルタヴァ（モルダウ）」を聞きながら、スメタナもこの景色を見ながら作曲したのだろうかと思いを馳せました。

他にも食べ物やスポーツの話もあり、参加者のみなさんは普段なかなか聞くことができないチェコについてのお話を熱心に聞いていました。

今回の講座が、世界のいろいろな国に目を向けるようになり、日本のことも世界と対比しながら、考えるきっかけとなることを願っています。